

令和5年度植物検疫くん蒸剤安全使用講習
(植物検疫くん作業主任者専門講習再講習)
講習内容の確認アンケート

本アンケートの目的は、**受講者が本講習において教材の内容を十分に理解できたか否か**を確認することです。
事務局は回答を審査し適切であると判断した場合に受講証明書を発行します。

つきましては、テキストを熟読し学習した後、以下の各設問にご回答ください。

回答を十分に確認し署名の上、PDF形式で当会事務局までメールでお送りください。

送付先：info@nikkunkyo.or.jp

所属事業所	
氏名	

1. 植物検疫と危害防止対策	
(1) 植物検疫に関する記述です。不適當なものを選んで○を付けてください。	
	植物検疫は、国際検疫と国内検疫に分けられる。
	輸入検疫には「輸入植物の検査」、「輸入の制限」及び「輸入の禁止」がある。
	輸出検疫は、相手国が求める検疫条件に適合しているかを検査している。
	国内検疫には、国内植物の移動規制や緊急防除などが含まれる。
	全ての害虫は検疫対象で、発見されると不合格となる。
(2) くん蒸での事故に関する記述です。正しいものを全部選んで○を付けてください。	
	くん蒸業務に関する社員教育や周知徹底の不足が事故につながる。
	くん蒸頻度が多いとマンネリ化し、少ないと経験不足で事故が発生しやすい。
	事故が発生したら、直ちに指定医療機関に連絡するとともに、適切な処置を受けさせる。
	事故防止の対策の一つとして、緊急時連絡網を整備する。
(3) くん蒸剤に関する記述です。正しいものを全部選んで○を付けてください。	
	青酸ガスは、毒物及び劇物取締法により毒物に指定されている。
	臭化メチルくん蒸は、倉庫、本船、天幕及びサイロで行われている。
	臭化メチルくん蒸では、皮膚に付着すると化学火傷を起こすので注意する。
	リン化アルミニウム剤は、カーバイトに似た警戒臭がある
(4) ガス検知器に関する記述です。正しいものを全部選んで○を付けてください。	
	臭化メチルくん蒸における漏洩点検用に、炎色反応型ガス検知器や半導体式ガス検知器がある。
	青酸くん蒸における漏洩点検用として、グアヤク銅検知紙があげられる。
	リン化水素の漏洩点検用には硝酸銀検知紙がある。
	各種ガスの抑制濃度確認や漏洩点検には、専用の検知管も使用されている。

2. 労働災害の防止対策

(1) 特定化学物質障害予防規則に規定されたくん蒸作業の共通事項に関する記述です。該当するものを選んで○を付けてください。

	濃度測定は、当該倉庫、コンテナ等のくん蒸しようとする場所の外から行う。
	くん蒸中の場所からの臭化メチル等の漏洩の有無を点検する。
	くん蒸中の場所には、立ち入りを禁止し、その旨を見やすい箇所に表示する。

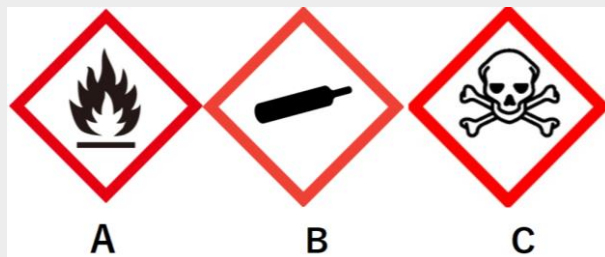
(2) リスクアセスメントに関する記述です。正しいものを全部選んで○を付けてください。

	化学物資のリスクアセスメントは、労働災害を防止するために行うものである。
	化学物質のリスクアセスメントは、まず化学物質による危険性又は有害性を特定することから始まる(ステップ1)
	化学物質のリスクアセスメントは、ステップ1で特定され、見積られたリスクの低減措置を実施するという流れで行われる。
	検疫くん蒸剤(臭化メチル、シアン化水素、リン化水素)はリスクアセスメントが義務づけられている。

(3) 酸素欠乏に関する記述です。該当するものを選んで○を付けてください。

	通常、空気中の酸素濃度は約21%で、残りのほとんどは窒素である。
	空気中の酸素濃度が低下すると脳の機能は低下し、さらに低下すると機能停止、意識不明となる。
	植物検疫くん蒸(本船くん蒸)では、空気呼吸器を装備しておく必要がある。
	酸素欠乏の主な原因には、穀物・木材等の呼吸作用、鉄製構造物の酸化(サビ)などがあげられる。

(4) これは、臭化メチル剤の安全データシート(SDS)におけるGHSに対応したピクトグラムの一部です。ABCに入る正しい組み合わせを選んで○を付けてください。



	A : 可燃性、 B : 高圧ガス、 C : 急性毒性
	A : 急性毒性、 B : 高圧ガス、 C : 生殖細胞変異原性
	A : 高圧ガス、 B : 急性毒性、 C : 発がん性

3. 植物検疫等を巡る最近の話題。動画を見てわかりにくかったものに×、わかりやすかったものに○を付けてください。	
	臭化メチルに関する内外の動き
	農水省、輸入植物検疫の見直し（第9次改正）－非検疫対象にハナアブ科3種が追加、全523種に－
	輸入中古農業機械－輸入中古農業機械が植物検疫措置の対象に－
	ヨウ化消毒基準追加－ヨウ化メチル倉庫及び天幕くん蒸が輸入木材の消毒基準に新設、青酸天幕くん蒸は削除－
	検査証明書添付－病害虫の侵入リスク低減に向けた取組み、穀類等輸入貨物への証明書添付厳格化など－
	植物検疫くん蒸作業主任者専門講習再講習会及び輸出用木材こん包材くん蒸技術講習会－10月2日（月）から10月27日（金）まで非対面、動画コンテンツ併用で－
	ヒアリ類消毒基準－環境省、対処方針や消毒基準を施行－
	サイロにおける穀物類のリン化アルミニウム空間部投薬循環くん蒸技術
4. 今回の講習から導入した動画コンテンツ（3本）の時間について評価してください（3段階）。 3：長い、2：ちょうど良い、1：短い	
	I 植物検疫と危害防止対策－植物検疫概要、関係法令、くん蒸事故例及びその防止対策－：約46分
	III 植物検疫等を巡る最近の話題その1：約22分
	III 植物検疫等を巡る最近の話題その2「サイロにおける穀物類のリン化アルミニウム空間部投薬循環くん蒸技術」：約19分
5. テキストのみと、テキストと動画の組み合わせ、理解しやすいほうに○をつけてください。	
	テキストのみ
	テキストと動画の組合せ

氏名（自署）